

## 令和4年度学校評価の結果を受けて

学校評価アンケート項目で達成率80パーセントを下回った5項目について改善策を検討しました。

①子どもたちは（わが子は）（あなたは）、図書を利用して調べたり、読書を楽しんだりしていますか。

**【タブレットとのすみわけを検討。各種取組の充実。活動の見える化。地域講師、公共図書館との連携。家庭との連携】**

○学校図書館活用学習の充実

- ・校内研修で、教師が授業でどのように図書を活用するか校内研修を実施する。
- ・授業で活用できる図書のリストアップを行い、データを蓄積する。

○読書活動の推進

- ・「持って帰ろうデー」「朝の図書館読書の日」の継続と読書記録の改善。
- ・学習公開日に「親子で一緒に本を読もうデー」実施の検討。

②子どもたちは（わが子は）（あなたは）、家庭学習に進んで取り組んだり、確実に取り組んだりする習慣が身についていますか。

**【宿題、課題の出し方の工夫、課題を出す際の声掛けや評価の工夫。家庭との連携】**

○児童の意欲を高める取組

- ・児童に必要感や調べたいと思わせる課題を出すようにする。また、声掛けを行う。
- ・優れた自学の取組を積極的に紹介することで、取組方法がわからない児童への参考とする。
- ・優れた取組を評価し、次の学習につながる意欲づけを図る。

○家庭との連携

- ・学校と家庭が共通理解をもってすすめるために、「家庭学習の手引き」を保護者と一緒になって見直しをする。
- ・自学や家庭学習の状況を学級だより等でお知らせし周知を図る。

③子どもたちは（わが子は）（あなたは）、学習や生活における課題がわかり、自分のめあてをもって実践していますか。

**【めあてとふりかえりの徹底。課題の数値化や実施方法の改善を検討。目的意識や目標を各行事で確認する。家庭との連携】**

○自分を客観視できるようにする。（発達段階に応じて）

- ・テストの点数を自分で管理するなど自分の課題を把握させる。
- ・めあてとふりかえり、まとめを明確にし、自分の状況に応じた学習計画をたてさせる。
- ・めあてのたてかたや自学の仕方、いいノートなどを紹介し、方法がわからない児童にヒントを与える。

○家庭との連携

- ・「元気アップ週間」等では、親子でめあてを一緒に決めるなどの取組を検討する。

④子どもたちは（わが子は）（あなたは）、気持ちのいい挨拶、返事をしていますか。整理整頓ができていますか。

**【職員からの率先した挨拶。挨拶や整理整頓の意義を指導。こまめに、機会をとらえての指導】**

○気持ちのいい挨拶と返事の実践。

- ・朝以外の場面に応じた挨拶の指導を心がける。来校者や地域の方へのあいさつに関し、具体的に指導し習慣化させる。
- ・委員会による、あいさつ運動の継続。
- ・短い時間で、集中的に整理整頓に取り組む。その時間の確保を行う。

○関係機関との連携。

- ・あいさつ運動などを学校だけでなく、家庭、地域と一緒に盛り上げていく。

⑤子どもたちは（わが子は）（あなたは）、好き嫌いをせず、マナーを守り食事をしていますか。

**【現在の指導を継続、充実させる。家庭へ取組を周知】**

○学校での「食の学習」

- ・指導の際、職員の共通理解を図り、つけたい力を明確にする。
- ・苦手なものでも少しずつ食べることで、食に対して広がりを持たせたい。そのため、適量、決めた量は食べるよう指導する。
- ・食事のマナーについても目に見える形で指導していく。

○家庭との連携

- ・家庭へいろいろな食材に触れたり、作ったり、食べたりすることの大切さを伝えるため、食についてたより等を活用する。
- ・感染症流行の状況を見ながら、栄養教諭による給食指導や試食会の実施の再開を検討する。